



富橋宏幸の世界

1
町出身・絵本作家



一九二三年老方に生まれる。
長年児童図書の編集にたずさ
わり、のち創作活動にはいる。
文・絵・実技指導と幅広く活
躍。「チロヌップのきつね」
など数多くが海外でも出版。

ちいさなたんぽぽさん
こどもたちの遊び場だった「たん
ぽぽひろば」が、駐車場になっ
てしまった。コンクリートのすきまから、
小なたんぽぽが顔を出している。
かわいそうに思ったマサコが、その
まわりに、チヨークでたんぽぽをい
っぱいかいてあげたら、いつのまに
か駐車場が「たんぽぽひろば」にも
どった。仲よしの人形と花をかき足
していくと、お花畑になった
——という展開の絵本「ちいさなたん
ぽぽさん」の表紙絵である。
ファンタジックなストーリーのう
らに、自然破壊への、こどもの小さ
な抗議がこめられている。一九七八
年、秋書房から出版された絵本で、
テーマ性のはっきりした、自分でも
気に入っている作品の一つである。

今年は何をやるか！

平成二年度予算が三月定例町議会で承認されました。
 今月は、町長が述べた施政方針説明と、
 新年度一般会計予算についてお知らせします。



新規事業 ダイジェスト

- 「新奥の細道」の路線調査を実施
- 館合地域の自治振興に助成
- 「福祉待合施設」を設置
- 交通指導車を購入
- 特産品の研究・開発を促進
- 良質米自然乾燥生産農家に奨励金
- 「農業振興大綱」を策定
- 転作の団地化に補助金
- 畜産の活性化を推進
- 牛床の改善に助成
- 繁殖牛の新規飼育に奨励金
- 農村青年交流を実施
- 消防ポンプ自動車を購入
- 小・中学校にファクシミリを設置
- 中学校にパソコン二十台を導入
- 黒淵地区にテレビ中継局を設置



—写真のことば—
 ▼若人待望の野球場が六月に完成します。▼良質米の生産を今年も指導員を置いて推進します。▼大琴バイパスが七月に完成するほか、集落道や農道など、道路の整備が進みます。

平成二年度は内外ともに厳しい政治情勢のもとでのスタートとなり、激動する社会情勢の中でどのように地方自治行政を推し進めるべきか、具体的にどのような行政施策を実践すべきか、その真価を問われる時代となりました。

地方自治体においては、それぞれの地方振興のために試行錯誤を繰り返しながら、地方自治の進展に努力し着実に前進を続けてきました。わが町もこのような現状の中で、やがて来る二十一世紀への基盤整備を急いできたところ です。

地域の特性をいかながら実践してきた本町独自の施策も、その成果を着実に収めつつあり、今後の更なる発展のために町の実態に即した、新しい時代に向けた行政ビジョンのもとに、的

確な指針と大綱を定めていかなければならない時期がいま到来しました。このため、新年度は地方自治変革期に備え、あらゆる施策を更に一歩前進させるべき年との認識にたっています。

地域の実情や住民の考えを把握し適切に対処

いま町村を取り巻く行財政環境は非常に厳しいものがあります。中でも農村問題として、特に▽年々増高する農村人口の高

町長の施政 出羽丘陵の自然と調和したモデル農村づくり

方針説明① 齢化に伴う後継者対策及び福祉対策▽農産物の自由化問題による影響▽将来の農業をみすえた

農業施策と新しい時代の農村構築▽新しい農業経営の在り方の問題▽過疎地域問題と農村振興対策▽税制改革に伴う過疎地域自治体の農村財源対策―どれもひとつとらえてみても、容易ならざる現実の中で、いま農村は大きな過渡期にさしかかっており、今後の農村地帯、自治体の在り方に大きな問題を提起されているところ です。

昨年 は 国 の 指 導 の も と に 「 ぶ る さ と 創 生 」 事 業 で 、 「 自 ら 考 え 自 ら 実 践 す る 地 域 づ く り 」 を 進 め て き ま し た が 、 こ れ を 契 機 に わ が 町 で も 、 自 主 的 、 主 体 的 な 地 域 づ く り の 芽 が 育 ち つ つ あ り ま す 。 今 後 と も こ の 芽 を 大 き く 育 て 、 花 を 咲 か せ る 地 域 づ く り に 邁 進 し た い と 存 じ ま す 。 地 方 に は 、 そ の 地 方 の み に 有



施政方針説明を行う畠山町長

確に把握しながら、「地域住民がいま何を求めているのか」、「この際何がもっとも役立つのか」を常に研究し、優れた次世代を築くために最大の知恵と努力を傾注し、適切に対処していくことが大切であると存じます。このため、地方行政でいま最も大切なことは、住民のニーズを的確に把握しながら、増大しかつ多様化する行政需要に適切に対応することであり、特に地域の特性・特色を生かした自主的な行政を進めることが大切と存じます。

地域の特性・個性を生かした町づくり

「出羽丘陵の自然と調和したモデル農村づくり」を標榜し、町民に呼び掛けています。これは町民の今後の農業への取り組みに、夢と希望を持たせるためのものであり、農業への新しい意識啓発に向けた努力を払っているところです。

農業への取り組みに夢と希望を

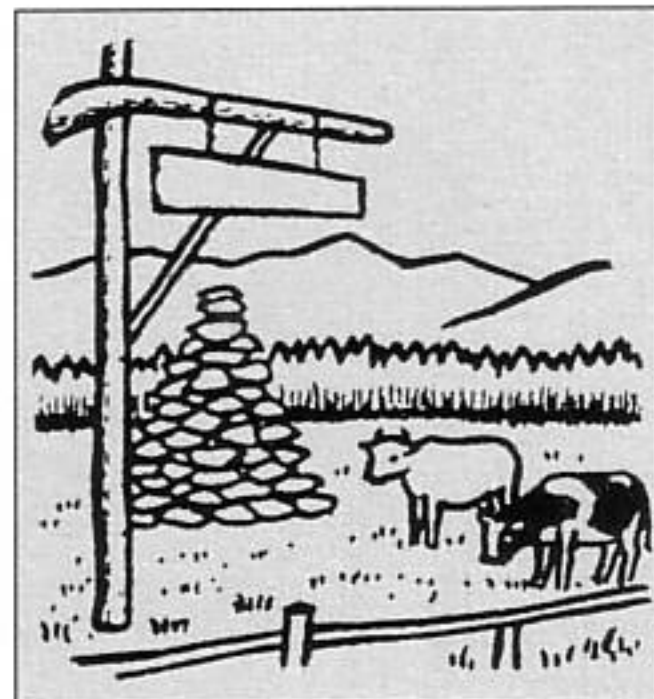
これまでわが町は「稲作プラ

ス畜産」を町の基幹産業に、その基盤整備を進めてきました。出羽丘陵地帯の特性を生かした農業の基盤整備は、農業近代化に伴うわが町の農業の方向づけを明確にした施策です。その意味で、二大基盤整備を終えたわが町は、いま新しい農業時代を迎えたこととなります。これを踏まえ、私はいま町の未来へのビジョンとして「出羽丘陵の自然と調和したモデル農村づくり」を標榜し、町民に呼び掛けています。これは町民の今後の農業への取り組みに、夢と希望を持たせるためのものであり、農業への新しい意識啓発に向けた努力を払っているところです。

以下、重点施策を中心に、新年度事業の概要をご説明申し上げます。(次ページに重点施策を掲載しました)

1

地域産業を活かした生き甲斐ある農村づくり



稲作▼良質米生産技術指導員を継続して設置するほか、特に「あきたこまち」の産地化を目指します。そのために良質米指定を「あきたこまち」と「ササニシキ」に限定、種子更新補助率を「あきたこまち」二五割、「ササニシキ」十割と差をつけることにしました。また今後の産地間競争への対応と

稲ワラ確保のため、「自然乾燥米奨励補助金」制度を実施します。**畑作**▼野菜栽培振興団体の指導強化を図り、「野菜栽培振興対策事業」の拡充を図ります。**葉たばこ**▼生産実績が評価され、増反が認められたことから、栽培農家が一層の充実するよう指導していきます。

特産品▼「特産品研究開発生産振興事業」を実施し、自ら進んで先駆的に取り組む個人、団体に助成します。**転作**▼団地化補助金制度を実施し、転作田の団地化を図ります。**畜産**▼「肉用牛増頭対策事業」を継続して実施するほか、「肉用牛地域一貫生産推進事業」を継続

して実施し肥育素牛導入に対しては補助金を大幅に増額します。また子牛の病気予防などのため「牛床改善対策事業」を取り入れるほか、減少する畜産農家の歯止め対策として「町単繁殖牛新規飼養者奨励事業」を取り入れます。このほか「優良雌牛地域内保留対策利子補給補助金」、「地域畜産活性化対策事業」を実施し畜産農家を支援します。

2

地域文化の発展をめざした生活道路網づくり



国道▼一〇七号線・宿工区の昨年の完成に次ぎ、大琴バイパスが本年七月中に完成する予定で、その開通行事を行います。また新年度は、奥ヶ沢工区の二号トンネル（延長二二八メートル）に着工するほか、清水尻橋が完成する予定です。**県道等**▼仁賀保矢島館合線は、八塩地区の延長四百十五メートルを現道舗

装するほか、館合バイパスの用地補償と合わせ更に調査を進めます。岩館バイパスは本年中に県から具体案が示されるものと期待しています。須郷田・跡見坂線（県代行事業）は、いよいよ新年度から着工することになりました。平成二年度は二百六十メートルの改良が予定されています。

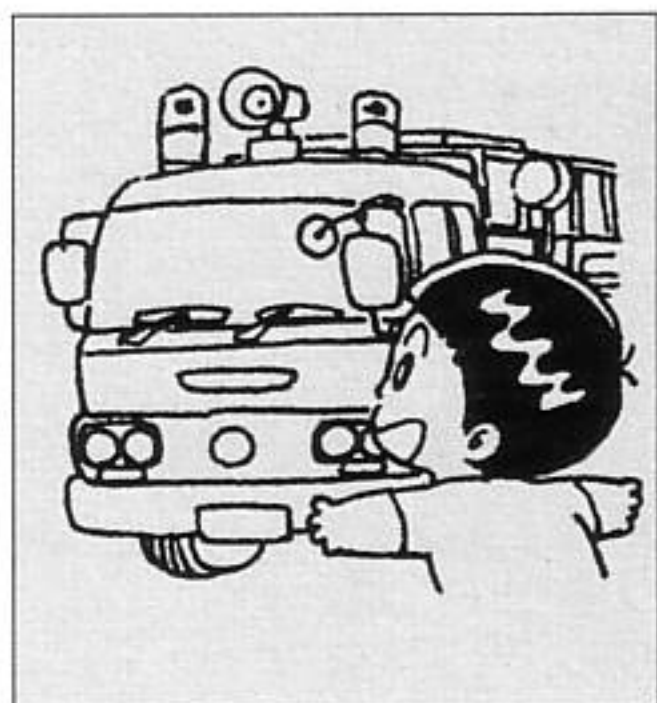


今年から着工する須郷田・跡見坂線

農道等▼高村線は小倉・高村間の舗装に着手し、舗装工事は平成三年度に完工の予定です。坪倉線は改良五百三十メートル、舗装千八百四十メートルの工事を行い、平成三年度の完工を目指します。深山線の二期工事は新年度中に完成します。このほか鞍骨線、杉森線、若林線、指平線の改良工事、鳥台線の調査測量、また八日町線など集落道七路線を整備します。

3

地域住民の住みよい生活をめざした生活環境づくり



八塩いこいの森▼「緑地等利用施設整備事業」が一応終り一段と整備されましたが、本年は「ふるさと創生事業」等により更に整備します。**館合地区コミュニティセンター・玉米館（仮称）**▼本年中に完成する予定です。これにより、町内すべての地区にコミュニティ施設が

完成することになります。**流雪溝**▼大琴、高瀬地区と館合家ノ下地区に流雪溝を設置します。**消防**▼第一分団に消防ポンプ自動車を設置するほか、防火水槽を四カ所に設置します。**交通安全**▼交通指導車を購入します。

その他▼環境庁と県による「新奥の細道」の路線に本町が入り、路線調査を実施することになりました。これにより、本町の名勝「八本杉」に至る遊歩道、八塩山頂に至る登山道などの具体的な整備路線が決り、将来の地域振興への寄与が期待されます。

いきいきとした
活力ある
5町つづめ
の柱

4

地域住民の保健充実に期した健康で明るい町づくり



野球場▼六月中に完成する予定で、野球協会、体育協会をはじめ小・中・高生などの総合的な利用を図り、町民の体位向上に寄与していきたいと考えます。

保健▼従来通りに保健活動を推進するほか、特に成人病検診の受診率向上に努めます。また新年度は「一日人間ドック」を新設し半

額を町が負担します。

児童福祉▼長年の懸案だった永慶・みどり両保育園の保育料の格差を、「保育児童保護者負担金均衡措置費」を設けてなくします。

老人福祉▼バス利用または待合などへの利便を図るため、「福祉待合施設」を設置します。このほか、東光苑を利用した「在宅老人デイ・



成人病検診の受診率向上に努めます

サービス事業」を更に充実させ継続するとともに、「在宅老人短期保護事業」の拡充を図ります。

火葬場▼本体及び付帯設備が完成しました。新年度で道路、駐車場などを整備し、七月中旬には運営に入ります。

5

地域発展の基礎としての人づくりをめざした教育環境づくり



小学校▼高瀬小学校に物置を新築します。また大琴小学校体育館屋根の張り替え、高瀬小学校プールの補修を行います。

中学校▼継続で大規模改造工事を行い年内の完成を見込みます。またこれに関連し、視聴覚室、コンピュータシステム教室を設置し、パソコン二十台を設置します。

このほか、小・中学校全校にファクシミリを設置し事務効率の向上を図るほか、教師の資質向上のため「教師新任者研修」を実施します。また、「文部省指定生徒指導研究事業」を取り入れ教育の振興を図ります。

生涯教育関係▼懸案の、黒瀬地区のテレビ難視聴を解消するため、

県の補助により同地区に民放（ABS秋田放送・AKT秋田テレビ）テレビ中継局を建設します。

また、「地域リーダー養成事業」を実施し人材育成を図るほか、町体育振興及び公民館活動の充実のため「体育スポーツ主事」を、県教育庁から派遣していただく予定です。



年内に改造工事が完成する東由利中学校

●平成2年度の主要事業一覧(単位・千円)

〈総務費〉

地域手づくり事業	477
縁組世話人報奨事業	660
夢セミナー活動費	614
「新奥の細道」路線調査費	257
コミュニティ助成事業費	2,067
防犯灯設置事業費	1,300
台山周辺環境緑化事業	2,642

〈民生費〉

身体障害者家庭奉仕事業	1,893
重度身体障害者生活環境改善事業	750
老人家庭奉仕事業	4,051
長寿敬老祝金支給事業	950
高齢者・身障者居室整備資金貸付事業	9,500
在宅老人デイ・サービス事業	1,114
在宅老人短期保護事業	280
高齢者サービス総合調整事業	201
福祉待合施設建設事業	600

〈衛生費〉

2歳児健康診査事業	254
歯科衛生事業	222
火葬場建設事業	34,186

〈労働費〉

勤労者体育施設建設事業	14,966
-------------	--------

〈農林水産業費〉

地域農業担い手経営能力向上推進事業	433
地域農業整備促進事業	467
良質米生産拡大事業	2,805
航空防除実施事業	600
産業道路整備事業	5,500
特産品研究開発生産振興対策事業	2,300
農業後継者対策	1,098
中堅農業青年対策事業	640
特産物フェア開催事業	1,797
農業振興大綱策定事業	2,952
転作定着化推進事業	1,250
優良雌牛地域内保留対策事業	249
地域畜産活性化対策事業	406
自給飼料貯蔵施設等設置推進事業	1,566
肉用牛地域一貫生産推進事業	1,045
肉用牛（繁殖）増頭対策奨励事業	2,790
牛床改善対策事業	250
町単繁殖牛新規飼養者奨励事業	750
出羽丘陵開発実施推進事業	40,151
農道整備事業	241,421
農村総合整備モデル事業	147,684
地籍調査事業	40,350
いこいの森管理事業	5,135
林道新設改良事業	51,507

〈土木費〉

道路新設改良事業	199,090
冬期交通対策事業	40,733
河川愛護推進事業	1,497

〈消防費〉

消防施設整備事業	24,718
----------	--------

〈教育費〉

高瀬小学校物置建築事業	3,128
中学校大規模改造事業	107,630
史跡・天然記念物保存事業	923
テレビ難視聴地域解消事業	19,358
生涯学習推進事業	1,339
家庭・婦人・成人・高齢者教育事業	1,041
青少年教育事業	1,006
地域リーダー養成事業	695
体力づくり事業	1,960

一人当たり 472,000円

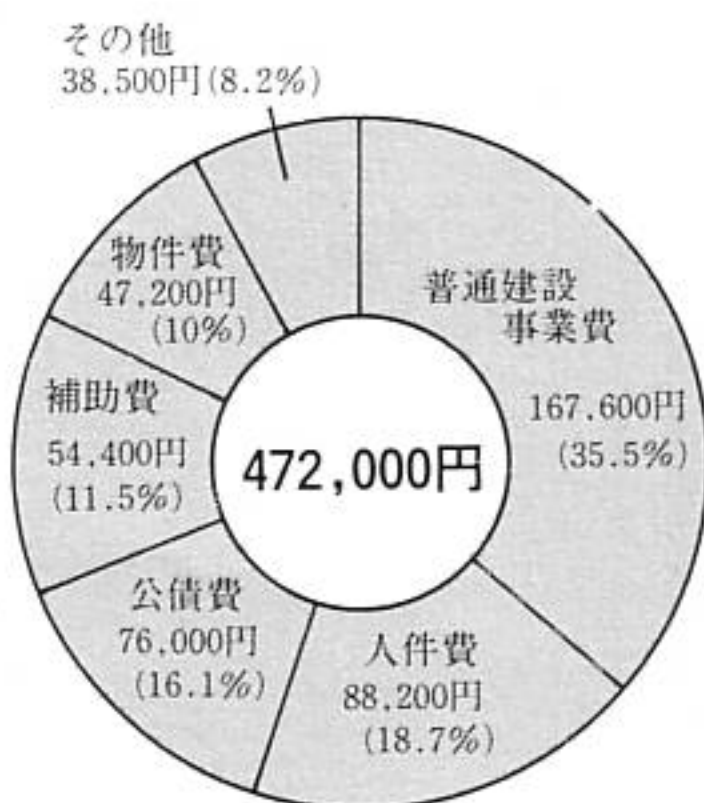
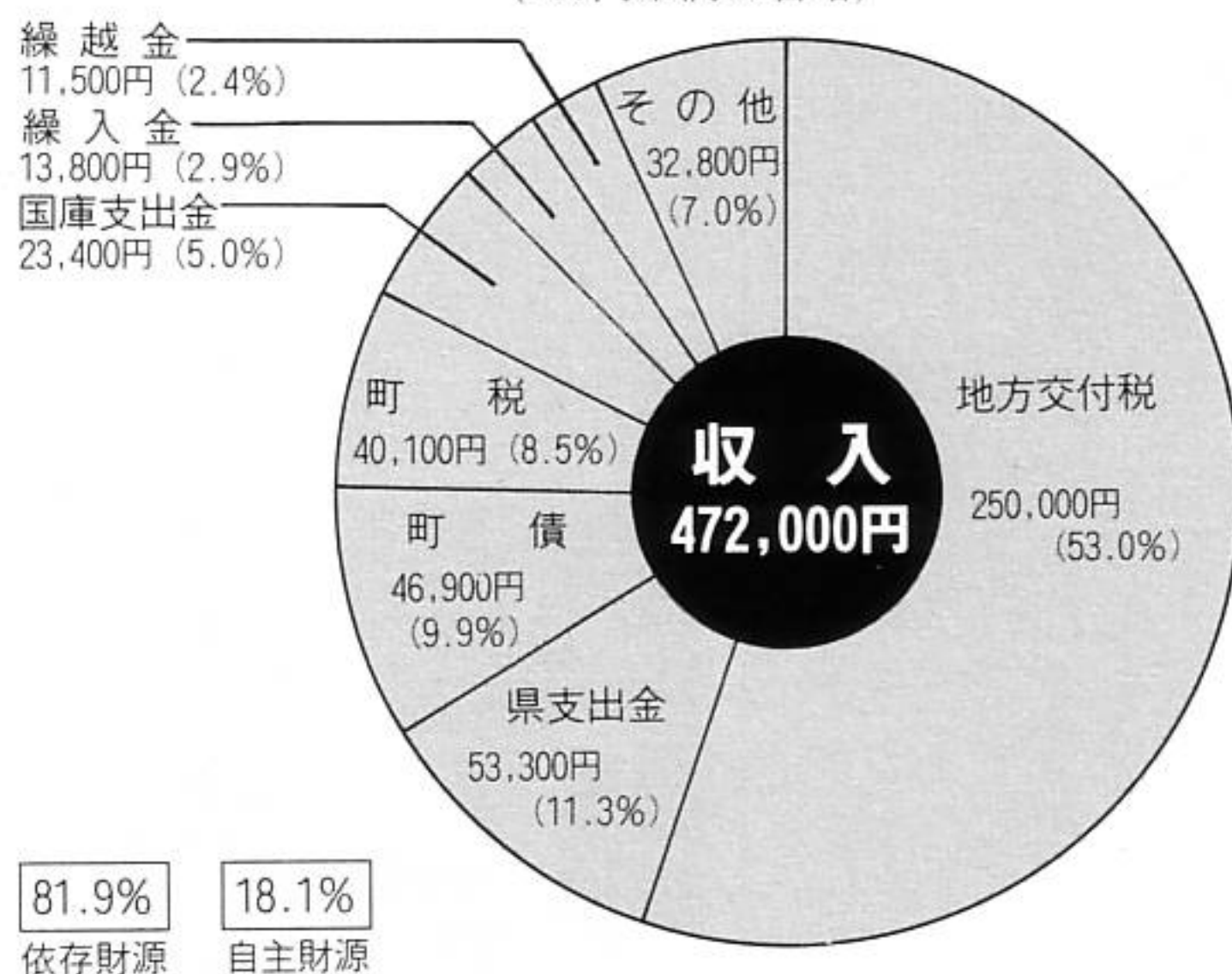
次世代に活きる使い方を！

町民一人当たりの町税は40,162円

- 固定資産税……22,806円
- 町民税………13,665円
- 町たばこ税…… 2,436円
- 軽自動車税…… 1,255円

町民1人当たりの収入

(100円未満は省略)



●町民一人当たりの一般会計
性質別予算の状況
(千円未満省略)

予算編成にあたっての基本事項は、①国と同一歩調の財政運営に努めた。②町開発基本構想に基づき諸施策の推進を図った。③極力経常経費の抑制に努め、前年比で○・五ポイント減らした。④財政の重点的効率的な配分を行った。⑤普通建設事業を積極的に推進し、前年比で七・二増、ふるさと創生事業を除く平年度ペースで一五・六増とした。⑥地域づくり推進事業は補正対応として計上を控えた。⑦減債基金を積み増したほか、

公債費の改善を図り、前年比で九・三減とするなど健全財政に努めたことなどです。
一般会計当初予算の総額は二十億八千二百三十七万三千円で、前年に比べ五・八減、一億五千六百二十五万円増えました。
歳入の主なものとは地方交付税、国・県支出金、町債などで、これら「依存財源」は全体の八一・九

で前年比で○・四増とわずかながら減りました。「自主財源」は歳入全体の一八・一減で、前年比○・四増となりました。歳入のうち前年より増収を見込んだものの、

ました。投資的経費つまり国・県補助事業、町単独事業は三六・二減で、前年比一・二増です。その他消費的経費は二七・七減で、前年比○・六減に抑えました。

事業を多く組み入れたほか、地方債にあっては良質債の効率的な運用を図り、全体としては地方債の発行額を極力抑えたところです。従って公債費比率は前年より更に低く、一二・一減に抑えることができる見込みです。過去に一五増を越す公債費比率が続いていましたが、六十二年以降は抑制し、町財政は一層健全化の方向に向かっています。
(以下、特別会計の説明は割愛)

町長の施政方針説明③ 事業優先の積極型予算を編成



平成2年度 町の台所は

一般会計・21世紀に向けた

●平成2年度一般会計予算

〈収入〉 (単位=千円・△=減)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	伸び率
町 税	236,634	217,417	8.8%
地 方 譲 与 税	49,800	53,800	△ 7.4
利 子 割 交 付 金	3,400	1,700	92.1
自動車取得税交付金	22,000	20,800	5.8
特別地方消費税交付金	10	0	5.8
地 方 交 付 税	1,473,373	1,379,011	6.8
交通安全対策特別交付金	10	10	0
分担金及び負担金	40,340	47,998	△16.0
使用料及び手数料	8,202	8,194	0.1
国 庫 支 出 金	138,355	131,062	5.6
県 支 出 金	314,631	279,925	12.4
財 産 収 入	25,760	46,426	△44.5
寄 付 金	10	10	0
繰 入 金	81,491	40,020	103.6
繰 越 金	68,000	68,000	0
諸 収 入	43,957	37,805	16.3
町 債	276,400	298,500	△ 7.4
収 入 合 計	2,782,373	2,630,748	5.8

〈支出〉

項 目	本年度予算額	前年度予算額	伸び率
議 会 費	69,339	66,663	4.0
総 務 費	323,825	354,052	△ 8.5
民 生 費	173,354	167,387	3.6
衛 生 費	187,764	155,921	20.4
農 林 水 産 業 費	23,948	58,605	△59.1
農 商 工 業 費	724,277	680,661	6.4
農 商 工 業 費	11,206	9,781	14.6
土 木 費	322,411	351,274	△ 8.2
消 防 費	124,782	101,636	22.8
教 育 費	351,536	235,576	49.2
災 害 復 旧 費	18,687	400	4,671.8
公 債 費	448,134	445,682	0.6
諸 支 出	110	110	0
予 備 費	3,000	3,000	0
支 出 合 計	2,782,373	2,630,748	5.8

●平成元年度特別会計予算 (単位=千円)

会 計 別	本年度予算額	前年度予算額	伸び率
国 民 健 康 保 険	489,954	441,931	10.9
老 人 保 健	379,639	316,461	20.0
黒 瀨 診 療 所	2,116	2,035	4.0
簡 易 水 道 事 業	122,513	126,425	△ 3.1
特別養護老人ホーム	132,519	122,759	8.0
大 平 ス キ ー 場	9,283	10,139	△ 8.4
玉 米 財 産 区	1,344	1,225	9.7

今年度町に入ってくるお金と使われるお金は次の通りです。

表と図を見ながらお読みください。

町民一人当たりの使われるお金は472,229円

■使われるお金(総額÷人口)……472,229円

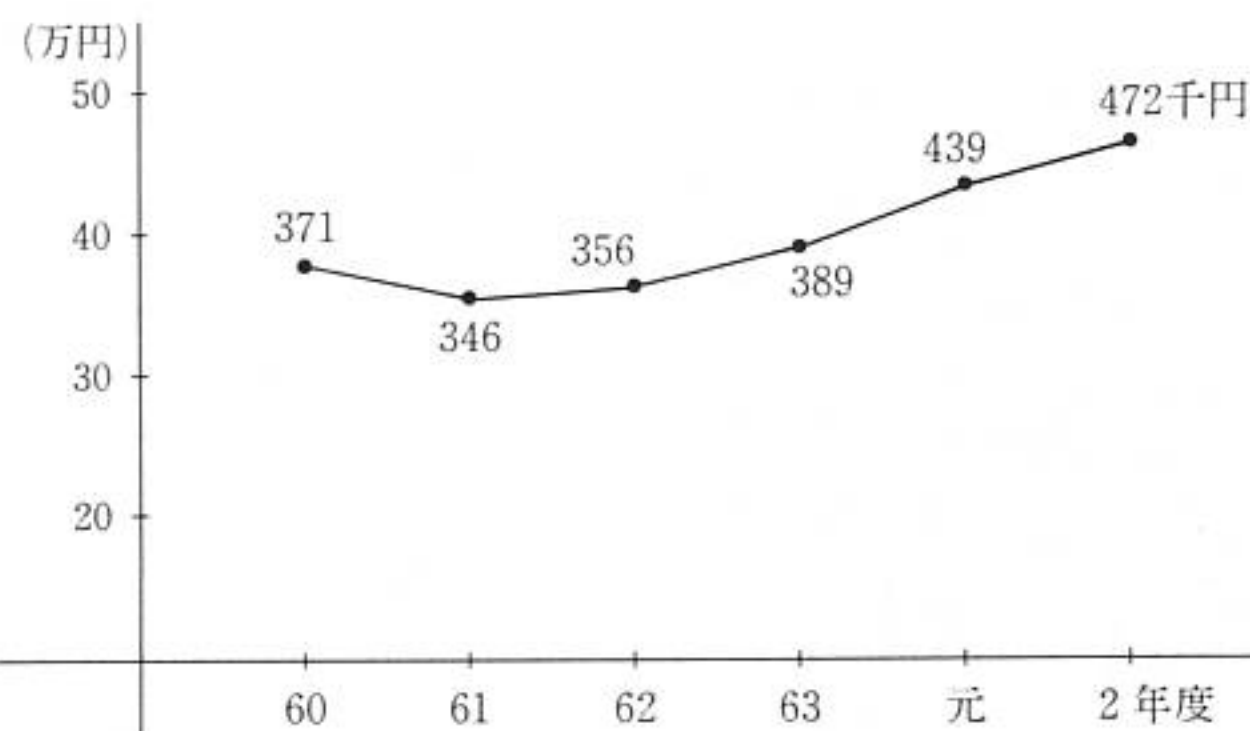
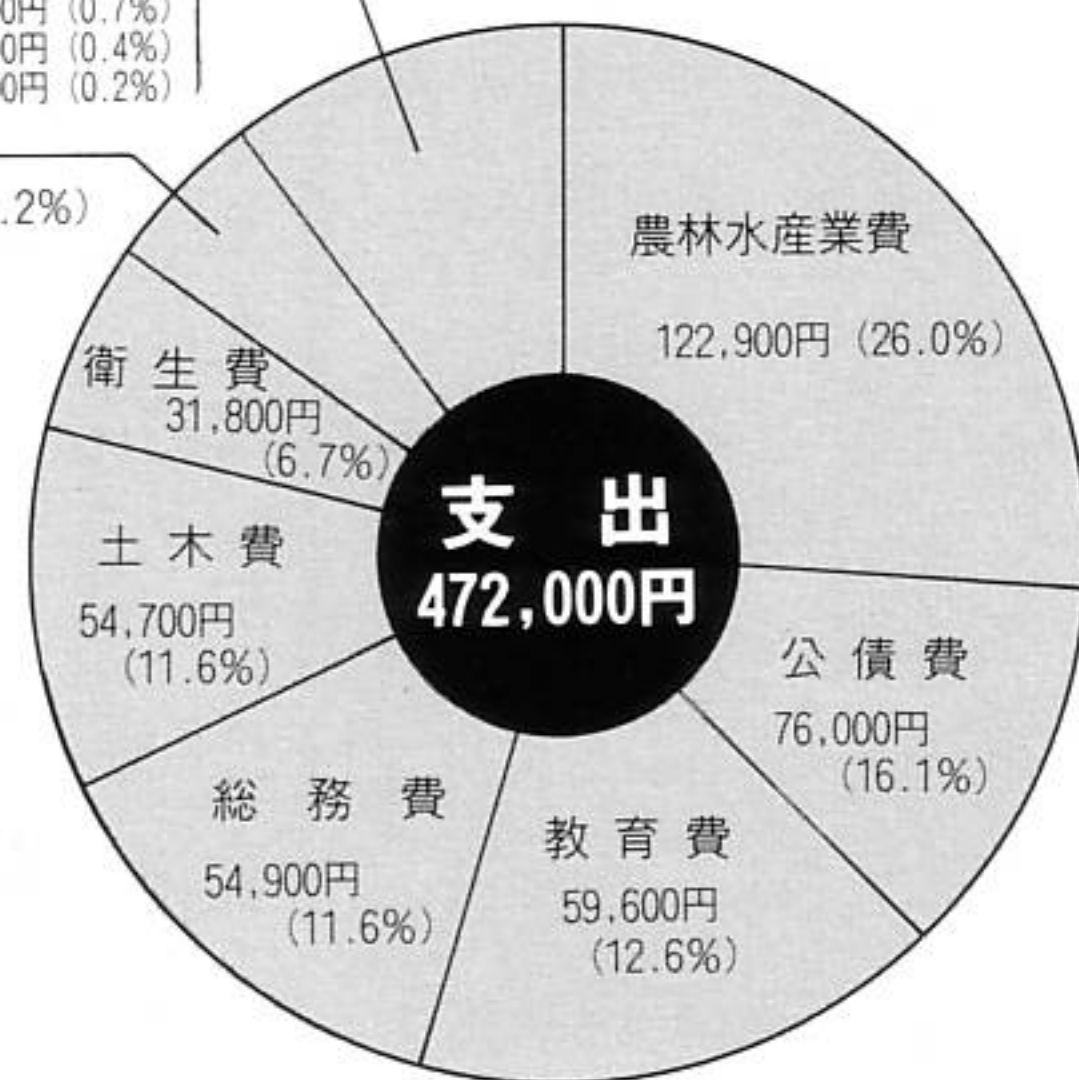
—— 1月1日現在の5,892人で計算 ——

■町民1人当たりの支出

(100円未満は省略)

消 防 費 21,100円 (4.5%)
議 会 費 11,700円 (2.5%)
農 林 水 産 業 費 122,900円 (26.0%)
農 商 工 業 費 76,000円 (16.1%)
土 木 費 54,700円 (11.6%)
公 債 費 448,134円 (95.4%)
災 害 復 旧 費 18,687円 (0.4%)
教 育 費 351,536円 (74.5%)
民 生 費 173,354円 (36.7%)
衛 生 費 187,764円 (40.0%)
諸 支 出 110円 (0.0%)
予 備 費 3,000円 (0.6%)

民生費
29,400円 (6.2%)

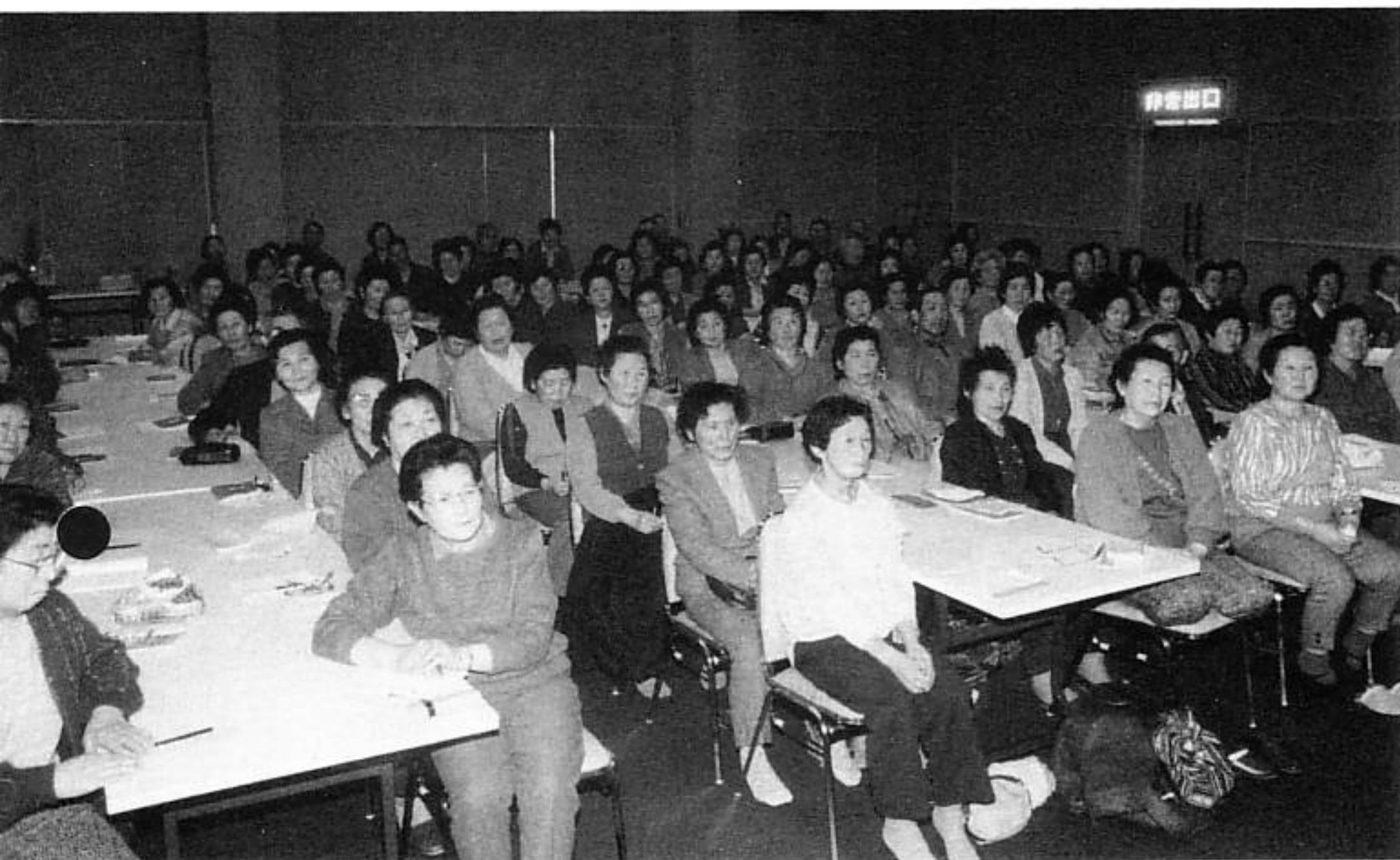


●町民一人当たり一般会計当初予算の推移
(千円以下省略)

カメラトピックス

今月の出来事

▼今年度最後、5回目の健康大学が3月9日有鄰館で開かれました。テーマは「がんから身を守るために」で、本荘第一病院の小松寛治院長が講義をしました。会場には町愛育班員ら200人余りが詰め掛け、小松院長の話に熱心に耳を傾けていました。



▲三年前から日本全国を巡り、ユニークな講義を通して農業の大切さを訴えている講談師・宝井琴梅さんを迎え、「農業講談」(町農業委員会主催)が三月三日朋楽荘で開かれました。会場には百三十余人の町民が詰め掛け、宝井さんの弁舌巧みな講談に陶醉していました。

男子型誘致企業 大東精機(株)が西山工業団地に進出!

創業開始は来年一月 中高年者も採用

町の誘致企業として、精密機械部品メーカーの「大東精機株式会社」が、西山工業団地に立地されることになりました。

同社は、精密機械部品の加工組立を中心とする男子型の企業で、金浦町に本社のある丸大機工株式

会社(資本金三千万円、従業員百十八人)が、現地法人大東精機株式会社を設立し本町に立地することにしたものです。

立地場所は蔵字上の山の西山工業団地で、約六千六百平方メートル(二

平方メートル(三百坪)の工場が建設されます。着工は十月で、来年一月には創業が開始される予定です。

従業員は当初、男子十九、女子一の二十人を予定、将来は男子中心に五十五人を採用する計画です。

採用者がうち二、三割は中高年者の採用が予定され、中高年者の就労の場が少ない本町にとって、望みの企業誘致となります。

同社ではこの工場に二億六千万円を投下、年間生産額を当初一億円、将来五億円と見込んでいます。

教職員異動

―八塩小―(敬称略)

【転出】▽須藤元夫(退職)▽三條裕子(秋田・大住小)▽養護教諭・石郷岡薫(仙北・清水小)

【転入】▽佐々木善雄(院内小)▽工藤伸子(鶴舞小)▽養護教諭・杉山美穂子(新任)

【昇格】▽主査・畑中亮

―高瀬小―

【転出】▽校長・大平謙一郎(金浦小)▽教頭・三森喜一郎(北中)

▽教育研究所・畠山輝雄(北内越小)▽佐々木公(新山小)▽三浦憲一(在外日本人学校)▽岡部幸恵(矢島小)▽講師・伊東和人

【転入】▽校長・佐藤貢(亀田小)

▽高橋末廣(小友小)▽教育研究所・田口靖一(南中)▽東海林京子(松ヶ崎小)▽小松浩一(平沢小)▽坂之上淳子(新任)

【昇格】▽教頭・間杉康一

―大琴小―

【転出】▽校長・佐藤正(平沢小)



▲バレーボール・クラブリーグ(出場7チーム)の決勝戦が3月11日健康増進センターで行われ、秋田信英が優勝、ポパイスポーツクラブが準優勝しました。



▲室内ゲートボール大会が三月四日健康増進センターで開かれ、九チームが出場。養田クラブが優勝、田代Aが準優勝しました。



▲永慶・みどり両保育園で三月二十四日卒園式が行われました。今年の卒園児は合わせて六十七人で、四月からはピカピカの小学一年生になります。

(写真・みどり保育園)

▼平成元年度町体育協会スポーツ栄誉章授与式が、三月十九日町公民館で行われ、郡大会以上のスポーツ大会で活躍した十一人の選手と、二団体に賞状やメダルが贈られました。受賞者・団体は次の通りです。(敬称略)

〔個人の部〕▼小松秀和(八塩小六年)▼小野智樹(高瀬小五年)▼佐藤裕(同)▼高橋恵(大琴小五年)▼大庭優子(同六年)▼池部純恵(東中三年)▼横山奈津子(同)▼池部留美(本荘高校三年)▼安倍正(同二年)▼佐野直美(由利高校三年)▼佐藤真由美(同)

〔団体の部〕▼大琴小▼高瀬小



▲大琴婦人消防隊の佐々木倉子さん(大琴)が、日本消防協会会長から表彰されました。佐々木さんは昭和三十三年に同隊が結成して以来、積極的に火災予防運動を推進、昭和四十七・五十五年には同隊長として、隊員の育成指導、防火座談会の開催、火の元検査の徹底など、防火思想の普及徹底に尽力されたものです。県内ではただ一人の受賞です。



▼高橋房雄(笹子小)▼石沢久子(前郷小)▼講師・佐々木康▼同・津幡治久▼同・阿部清治▼同・小野淳子

〔転入〕▼校長・鈴木憲一(小川小)▼吉田一男(鶴舞小)▼土田久子(前郷小)▼主事・須藤真紀(新任)

―東由利中―

〔転出〕▼教頭・梅津康男(退職)▼今野賢一(仁賀保中)▼石井満彦(県教委)▼工藤稔(大内中)▼講師・板垣洋▼同・佐藤英樹

〔転入〕▼教頭・堀江照男(県教委)▼熊谷茂(石沢中)▼阿部徳之(上浜小)▼芹田亨(新任)

町教育研究所に田口教諭 社教指導員に佐藤氏就任

昨年専任の教諭が配置されている町教育研究所(畑山昭一所長)に、これまでの畠山輝雄教諭に替り本荘南中学校から田口靖一教諭(本荘市・五〇歳)が赴任しました。

また、町社会教育指導員の任期終了に伴い、これまでの佐藤直温氏に替り、前・県林務課主席課長補佐の佐藤恒悦氏(館西・六〇歳)が就任しました。



田口靖一教諭



佐藤恒悦氏

議会定例会

一般質問

町議会定例会が三月六日から十五日までの会期で開かれました。初日は町長の施政方針説明、一般質問のほか、平成元年度一般会計補正予算案など十七議案を提案、このうち九議案を可決し、新年度の各会計当初予算案を常任委員会に付託しました。このほか会期中は勤労者体育施設（野球場）設置条例など十七議案を原案通り可決、同意しました。以下、一般質問と可決された主な議案について、概要をお知らせします。

中高年者の

職場対策について問う

「本町の場合、六十歳を超えても立派に農業経営者として活躍しているのが実情ですが、この方々は冬期間出稼に出る現状にあり、この方々の冬期間の職場づくりに今後とも努力します。また、シルバー対策といわれる高齢者の職場確保が今後の緊急課題でありますので、生き甲斐対策と合わせ今後十分努力していきます。」

一〇七号線改良の

見通しを問う

宿工区が完成し大琴バイパス

が本年中に開通することになりました。これにより本町内の中心部分が概ね改良整備されたこととなります。本年から畑村から奥ヶ沢を経て本荘市山内に至るトンネル工事が着工となり、平成六年度の完成を目標にしています。山崎、板戸間の未改良部分についても併行して完成するように、今後最善の努力を続けていきます。

郵便局、信用金庫間の

側溝整備を急いで

危険と被害防止からも早期に改良する必要がありますので、本年中に整備できるよう調査を進め、調査が終了次第補正予算を計上し着工したい考えです。

湯出野線に

防雪網の設置を

かねて地域住民からの強い要望もあり、特に学童の冬期安全対策上からも本年中に設置したいと考えています。



防雪網の設置が望まれる湯出野線

企業誘致に

積極的な取り組みを

本町にはまだまだ雇用確保の見通しがあり、現在特に男子型企業の誘致に努力しています。最近、県内の企業で本町への立地を検討している企業があり、いまその誘致を検討しています。企業側の意思表示があれば、早急に議会と協議し、方向づけを

したいと考えています。

農産物処理加工施設

建設のめどは

「第三期山村振興計画事業」で計画してきましたが、運営にあたる農協が未だ実施に踏み切れない実情にあります。農家からの要望は年々強まっており、近年中の実現をめざし更に努力していきます。

福祉の具体策を問う

高齢化に伴う本町の福祉対策は、県内のトップレベルにあると確信しております。例えば、特別養護老人ホームの運営をはじめ、給食サービスの「ふれあい弁当」、高校生などによるボランティア、寝たきり老人対策として生活用具の給付、ヘルパーによる老人家庭奉仕、介護サービス、在宅老人のデイサービス、短期入所などです。また、本町の高齢者の特徴としては、高齢人口比率が全県第九位と高い反面、一人暮らし老人は全県六十九市町村中六十四位と低く、恵まれない一人暮らし老人対策については十分に対応できているものと確信しています。（詳しくは後日発行の「議会だより」をご覧ください。）

可決された主な議案

野球場の利用料などを決定

今春オープンする町勤労者体育施設(野球場)の使用基準や使用料などを条例で決めました。

地域振興基金を設置

健康で生きがいのある地域づくりのために、町地域振興基金を設け、その収益を福祉活動促進のための事業や、快適な環境をつくるための事業などに充てることを条例で決めました。

中小企業基金を一千万円に

町中小企業基金条例の一部を改正し、基金限度額を九百万円から一千万円に引き上げました。

水田農業推進で基金を設置

水田農業確立後期対策の円滑な実施や、水田農業の定着促進を図るため基金を設け、その用途を水田農業推進関係事業に向

けることを条例で決めました。
八塩いこいの森の施設使用料などを決定

八塩いこいの森の適正かつ円滑な運営のため、運営協議会の設置や、使用規定、バーベキュー広場・キャンプ場など施設の使用料を条例で決めました。

「土曜閉庁」で条例を制定

毎月の第二土曜日と第四土曜日は町の休日とし、町の機関は原則として執務しないことを定めた「東由利町の休日定める条例」を制定しました。

議会議員と特別職などの報酬を引き上げ

▽議長二十万七千円(二十万円)▽副議長十七万六千円(十七万円)▽議員十六万八千円(十六万二千円)▽町長六十五万円(六十二万五千円)▽助役五十万円(四十八万五千円)▽収入役四十七万円(四十五万五千円)▽教育長四十五万円(四十三万五千円)

営林局から立木を取得

環境保全や水源涵養などのため、田代字深山地内山林のスギなどの立木(約十三ヘクタール)を、約三千八百万円で秋田営林局から購入することにしました。

固定資産評価審査委員会の委員に佐藤力氏を再任

任期満了にともなう町固定資産評価審査委員会委員に、佐藤力氏(宇戸坂・六〇歳)を再任しました。



「土曜閉庁」の条例制定で、役場は第二、第四土曜日が休みに…

平成元年度一般会計に一億二千八百万円を追加

平成元年度一般会計予算に一億二千八百万三千円を追加、同予算の総額が三十三億三千三百八十九万七千円になりました。主な内訳は次の通りです。(十万円以下省略)▽減債基金積立金四千万円▽地域振興基金積立金四千百万円▽老人保健特別会計繰出金千三百万円▽水田農業確立特別対策基金積立金九百万円▽道路新設改良費二千二百万円▽立木購入費三千八百万円

保険料が8,400円に変わりました。

国民年金の保険料が四月から一カ月八千四百円に変わりました。付加保険料は、今まで通り一カ月四百円です。保険料は安く年金は高くとも望むところですが、給付と負担のバランスがとれていなければ年金制度は維持できません。長期的に安定した制度のために、適正な保険料の負担についてご理解をお願いします。

役場は4月から第2、第4土曜日が休みにになりました。

役場は、四月から第二、第四土曜日を閉庁することになりました。ただし、死亡届・婚姻届・埋火葬許可申請等は日直員が受付します。また、学校、東光苑は従来どおり

業務を行うほか、公民館(窓口業務は休み)・有鄰館・健康増進センターなどの公共施設は利用できます。

よりよい行政サービスの向上に努め、不備な点があればそのつど対応していきます。町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

平成元年度畜産講演会

二百人が畜産の課題など学ぶ

町・東由利農協・由利農業共済組合が主催する畜産講演会が、二月二十八日有鄰館で開かれ、畜産農家ら二百人余りが参加しました。

講師は県農協中央会・地域農

講演要旨 繁殖サイクルに合わせた 栄養の確保を

当面する課題は一年一産の確立です。当町の平成元年度平均子牛販売価格は四十八万円ですから、一カ月空胎が続くと月四万円の収入減になる

わけです。毎年一頭の子牛を生産するには、妊娠期間を二百八十五日とみると、分娩後六十〜八十日までの間に良い発情がきて、確実に受胎することが必要です。

繁殖牛で大事なことは、繁



講演する佐々木氏

殖サイクルに合わせて必要な栄養を与えることです（ただし、過ぎたるは及ばざるに如かず）。分娩を中心にして前三カ月位は胎児の発育が急激で、母牛の体力が消耗しがちです。また分娩後三〜四カ月は、乳を出すための栄養が必要不可欠です。特に初産の若雌は、自分自身の発育のためにも必要です。

地域、農家間交流の強化を

もう一つの課題は、繁殖農家が自分の生産した子牛を素牛として肥育する、一貫経営です。血統がはっきりしており、遺伝形質の特徴もよく分かっていますし、それに育成時に丈夫な骨格や胃袋作りに留意できます。



200人余が参加した畜産講演会

業振興班の佐々木鉄太郎氏で、「秋田県の畜産の現状と和牛飼育の展望について」と題し二時

しかし、肥育経営は、その成果のほぼ半分が素牛の良し悪しに左右されるのに対し、繁殖経営の一年一産の達成は、その九割までが飼育者の取組み如何にかかります。このため、一貫経営で成功するにはこのような経営上の特質を理解し、それに対応できる技術・資産・労力などの経営条件が前提になります。

間半にわたり講演しました。佐々木氏は、県内における畜産の現状、課題、和牛飼育の展望などを述べられましたが、その中から畜産の課題を拾いあげ、要旨を掲載しました。

お奨めします。例えば、小安温泉や稲住温泉に行く途中に、一寸、湯沢や稲川の肥育農家に立ち寄りてみるというように安易な方法ではなくて、先進的肥育農家に泊まり込んでお互いに問題点を討議し合うような突っ込んだ取り組みでなければ、意味がないと思います。

もっと肉用牛の勉強を

最後に、肉用牛も今後、厳しい競争原理が働くものと考えなければなりません。しかし肉用牛は、これからも需要の増加が確実に期待できる部門です。さらに、価格の変動こそありますが、経営者の努力と創意・工夫が大きく報われる特性をもっている事業です。そのためには、肉用牛に関する本をもっと読んでいただきたいと思っています。

●繁殖牛飼養規模別戸数（2月1日現在）



●過去5年間の肉用牛飼養戸数・頭数（各年2月1日現在）

	飼養戸数	成牛	育成牛	子牛		肥育牛	合計
				雌	雄		
平成2年	399戸	1,187頭	64頭	422頭	444頭	42頭	2,159頭
元年	410	1,147	59	377	438	45	2,066
昭和63年	416	1,129	48	380	409	53	2,019
62年	420	1,106	47	366	432	77	2,028
61年	433	1,133	42	397	459	109	2,140

東京で町づくり懇話会

町づくりへのアイディア提供などがねらいの「町づくり懇話会」が、一昨年に続き二月二十三日東京の三越池袋店・別館で行われ、都内及び近郊で活躍中の町

出身者十五人と、町から畠山町長、町議会議員、農協組合長など二十三人が出席しました。

会議では産業振興に視点が向けられ、特産として売出し中のフランス鴨に話題が集中、▽現代人の食生活が肉主体の傾向にあり、将来性がある▽グルメ化で豚肉や鶏肉にかわる食味が求められている。販売システムを研究し長期・広範囲的なPRをなすべき—などの意見のほか、▽生産と販売は車の両輪。現段階で販売に生産が追いつくのか



三越池袋店・別館で開かれた町づくり懇話会

▽県内での消費状況は—などの質問も寄せられました。また、

▽由利牛は都内ではほとんど無名でブランドとの対立は無理。しかし今後は中位のものが好まれる傾向にあり、そのための販売戦略を模索しては▽健康食品の開発を—などの意見や、▽大衆学誘致を▽町名を馴染み親しまれやすいものに変えては—など、奇抜な意見も出されました。

この後、町出身者が経営する「割烹なか井」（新宿中井）で懇親会が行われ、盃を交わしながらの町づくり談議が繰り広げられました。



人気を呼んだ「きなこもち」

「町名を変えたら…」など率直な意見を交換

人気のきなこもち 小野京子さんの指導

今回のフェアで人気を呼んだ即売品の一つが「きなこもち」で、「手造りの素朴な味」として都会人に好評を得ました。これは農協婦人部が製造したのですが、味付けやかたちなどは「町の料理研究家」として知られる小野京子さん（須郷田）の指導を受けました。

同婦人部はこの「きなこもち」を「小さな目玉商品」として今後販売を広げていくことにしています。

「おはようほ場」「青空市場」などが評価 農近ゼミに農水大臣賞



農林水産大臣賞を受賞した農近ゼミ会員と金子拓雄さん（左から2人目）、畑山所長（右から2人目）

金子さんと、町農業総合指導センターには感謝状

町農業近代化ゼミナール（小野武志会長）が、地域農業に大きく貢献しているとして農林水産大臣賞を受賞しました。

また、同ゼミナールを篤志指導したとして金子拓雄さん（新町）に同省農畜園芸局長感謝状が、集団育成協力機関として町農業総合指導センター（畑山良一所長）に全国農村青少年教育振興会長感謝状が贈られました。

同ゼミは、情報交換や学習会を定期的に開き、各自の農業技術研鑽に努めると共に、「おはようほ場」や「青空市場」を設け地域農業振興のための課題解決に努めていることが高く評価されたもので、こうした実績で昨年は県知事表彰を受賞、このたびは栄えある農林水産大臣賞の栄誉に輝いたものです。

おめでとうございました。今後一層のご活躍を期待します。

特産物フェア盛會裡に終わる 東京東由利会も懸命に協力



東京東由利会の懸命な協力で行った町特産物フェア

町特産物のPRと即売を行う東京東由利特産物フェアを、二月二十日から二十五日まで東京・三越池袋店で、三月六日から十一日まで同銀座店で開催、盛會裡に終わりました。

両会場とも期間中は大勢の客が訪れたほか、首都圏在住の町出身者や出稼者なども大勢顔を見せ、古里のかおりに浸っていました。

また同フェアは東京東由利会（長谷山稔会長）の協力も得て行われ、両会場で延べ二十八人の会員から販売や餅つきなどに懸命に協力していただきました。

ガール

安倍栄美子さん(21歳)
家の下・本荘第一病院勤務



私が看護婦になろうと思ったのは高校時代で、これからの社会は手に職をつけておいた方が良かったからです。

昨年看護学校を卒業し、早くも一年が過ぎようとしています。今は毎日が忙しくて大変ですが、すべてが勉強になることばかりなので、充実しています。その中でもうれしく思うのは、「看護してい

て患者さんに喜んでもらえること」「患者さんが社会復帰できるようになること」です。反面、残念に思うことは、お年寄りが増加しているいま、家族からの愛情がなくなってきたことです。

これから徐々に医療が難しく、また、進歩する時代になります。そのためにも知識をもっと身につけ、病んでいる人のために精一杯頑張っていきたいと思っています。そして仕事を大切にしながら、スポーツや海外旅行など自分の楽しみも作っていきたいと思います。

次は小松真紀子さん(保母・22歳・八日町)にリレーします。



東由利とぼく

八塩小学校六年・小松義隆くん

ぼくは東由利に住んでいる。東由利の夏は、とても暑くて、夜もねむれないくらいだ。また、冬は手がこえるような寒さなので、東由利に住みたくなかった。思ったことも何度かあった。

それに、東由利にはたくさん雪が積もるので、雪よせの手伝いが大変だ。雪がたくさん積もったときは、父や母と協力してやっても一時間以上はかかったものだ。雪が多いからといって、つらい

ことばかりではない。例えば、雪が山のように積もるので、その雪を利用してスキーができる。だから、東由利に住んでいてよかったと思うこともある。都会は雪が少なく、スキーもできない。それに都会には自然が残っていないけ

ど、東由利には自然がたくさん残っている。植物や昆虫の観察ができたり、自然の仕組みをくわしく知ることができる。

小さいころは、よく昆虫をつかまえて世話をしたものだ。でも、いくらいっしょうけんめい世話をしても、生き物はかならず死んでしまう。ぼくはしだいに、昆虫は短かい命なので、せまい虫かごにとじこめておかないで、自由にさせてやりたいと、だんだん思うようになった。だから、もう昆虫をつかまえたりしなくなった。

ぼくは、自然がいっぱいの東由利が大好きだ。将来、東由利のこの自然を大切に守っていき

保健婦の 快適タイム

新班員さんへ暖い声援を!

任期交替による愛育班員の引き継ぎ会が各地区ごとに行われています。暑さ、寒さも吹き飛ばし、「いつも明るく元気よく」をモットーとした住吉地区愛育班活動は、いつもさわやかで元気そのものでした。日常の小さな気づきをみんなで見つけあひ、歯のみがきやストレッチングの実習、夏の飲み物調査や愛育班だよりの発行など、楽しみながら話し合い、学習しました。

引き継ぎ会では、活動をおしり自分の健康は自分で守ろうとする強い姿勢を持つこと。経済優先社会で人の心が減びやすい今の時代こそ、人と人の心の触れ合いの大切さを痛感したこと。班員一同が楽しく充実した二年間だったことなどが発表されました。

仕事に追われる主婦が、自分の足で歩いて人に声をかけ、身近かなことをみんなで話し合い、人に支えられる喜びを知り、自分自身を成長させるこの活動は周りをも明るくします。

バトンを受けた新班員さんには家族や地域の人などで暖かい声援をおくりたいものです。

(保健婦・伊東志津子)

旅立ち

「旅立ち」。とてもさわやかな響きを持つ言葉です。きらめく春が訪れ、木の芽がふくらむこの季節にぴったりの言葉でもあります。

旅立ちの内容も様々ですが、私の場合、二男がこの春卒業し、晴れて小学校に入学します。

例えば五年前、まだヨチヨチ歩きでみどり保育園に入所、後追いつ泣きわめく子を置き去りにする、辛い日もありました。

保育園への入所は、二男にとつ

随想スナップ

私の出番



五海保 遠藤 賀子さん

もちろん生まれて初めての集団生活でした。大勢のお兄さんやお姉さんたちと遊んで、食事し、お昼寝をする。そんな毎日を繰り返すうち、二男は徐々にたくましく成長していききました。他人への気配りや言葉づかい、何げない動作一つをとってみても、幼いながらも成長ぶりが感じとられます。

まだ幼い二男の旅立ちですが、これから学び成長していく姿に、喜びと大きな期待が込み上げてくる今日このごろです。

教師のつぶやき

せんせい登場



卒業式の歌声がよみがえる

八塩小学校・伊東雄悦先生

三月十六日、三十一名の「やおの子」が巣立っていった。式の歌の途中から女子十九名全員が泣いた。連鎖反応なのだろう。一人また一人と体を震わせながら泣いた。ある女の子は、とめどなく頬を流れる涙を決して拭こうとせず、歯をくいしばりながら歌った。

対照的に男子は、しぼり出すような声で力一杯歌っていた。女子の涙声が増えてくるといっそうその歌声に力強さが増していった。まるで、音程なんておかまいなしと言わんばかりに。

「男子もつと口を開けて歌え」

「これしか出ないか」。歌練習で何度この言葉を言ったことか。しかし、本番ではその男子が女子をカバーするようにして歌った。

三月に入ってから私は、子供達に「すっきり堂々と」という言葉を送った。これは、卒業するにあたって、自分自身の努力によって小学校を卒業することができたのだ、という満足感を持たせようとしたものである。果たしてこの言葉が、子供達の心にどこまで響いていたのだろうか。あの日の歌声を思い出しながら、自分自身を振り返っているところである。

ふるさとの昔ばなし 1

サンコにだまされた駄賃ひき

語り・阿部ナツオさん（中通）
文章と絵・石渡力造



むかしむかしなあ、茂助という駄賃ひきが、やせ馬に荷を乗せて毎日陽気に働いておった。

のどかな春の日、駄賃ひきの茂助は、菜の花が真つ盛りの、台山近くの畑のそばを通ろうとしたら、一匹のキツネが菜の花畑から出てきた。

「あれえつ、いたずらサンコでねえが。このオレさまがいるのも知らず、このキツネめっ！」茂助は馬を止めてよく見ていると、菜

目もくれず、大きな門構えの屋敷に入ってしまった。

座敷の奥は障子をはりめぐらしているが、中の障子戸が少しあいてあった。サンコめ、アネコに化けこんで何をたくらむところだろう」と、茂助は静かに障子をあけようとしたが、どうしたことかフニャフニャしてなかなかあけなかった。もつと力を入れてあけようとしたとき、

「駄賃ひきの大將！何やってるつ。馬にけとばされるぞつ」と肩をたくものがいた。

何と茂助は馬の尻に両手をかけて力いっぱいきばっていた。

遠くの畑にユラユラとかげろうがたっている、とろおんとした春の日だけ。

とっぴんからり山しよの実。

元・私印

私の場合

菊地三治郎さん（上通・74歳）



タバコは七年前にやめました。以前から血圧の薬を飲んでいますが、どこにも異常はありません。

今のところ体の調子は最高です。酒は三度のメシよりも好きですが、晩酌に二、三合やる程度で、ふか酒はしません。寝るのは八、九時、起きるのは五、六時で、食事は腹八分目を心がけています。

私は、健康は自分で体を鍛えて得るものだと思います。ですから一年中体を動かしています。今年の冬もウサギ狩りの勢子や、センノウ採りなどをしました。

これからは山菜採りのシーズンです。体力づくり、それに趣味と実益を兼ね、今年も山歩きをしたいと思っています。

ふるさとの想い 23

忘れられない思い出

横浜市港北区新羽町4395
小野トクミさん（大琴出身）

私が今住んでいる横浜では、二月下旬には梅の花が満開になり、今では桜の花のたよりがあちこちから聞こえてきます。

故郷の春はいかがですか。田んぼやあぜ道などの残雪の景色が、目に浮かんできます。



私は小野忠喜の母で、去年「ふるさと出会いの森」に入らせていただいた一人です。

この森の所在地・三ツ森には、忘れることのできない思い出があります。それは、昭和二十九年の大琴の大火で家を失いましたときに、村からこの三ツ森の官木を分けていただいたおかげで、家を建てることのできたのです。感謝と感激で涙の出る思い出でした。当時の家は、元の梅津千代太郎村長さんの真向かいにありました。

人生というのは分からないものです。今は横浜の空の下で、長男と一緒に暮らしています。

三月末には秋田市で同級会があり、その機会に大琴にも立ち寄って墓参りをしたいと思っています。今から胸をおどらせています。

オニノゲシ

(キク科)

文・写真 小松忠正



最近本町の畦や原野等で多く目につくようになってきた草で、繁殖力が強く、写真のように葉辺にするどいトゲがあり、取り除くに苦労します。ヨーロッパ原産の二年草で、ノゲシよりも大きくなり、一四〇センチ以上にもなります。

茎は中空で、切ると白い液を出します。葉は濃緑色で茎を抱くようにひろがります。葉辺にある歯状のトゲを鬼の牙に見たててこの名があります。花はキク花状のやさしい花をつけます。

4月 (2/1~2/28)

町の三二統計

●人口 () は前月比

- ・男 2,871人(△6)
- ・女 3,017人(△1)
- ・計 5,888人(△7)

●世帯数 1,433戸(1)

() は1月からの累計

●出生3人(11)●死亡6人(13)

●転入4人(10)●転出9人(13)

●火災出動……0件(0)

●救急出動……6件(16)

●交通事故……2件(4)

・死者……0人(0)

・傷者……3人(6)

●飲酒運転……0人(0)

●酒気帯び……0人(0)

戸籍だより

(2/21~3/20届出・敬称略)

●お誕生おめでとう

2/28 小野吉勇樹(浩人・長男) 上里

3/5 仙道 哲也(孝一・長男) 新沢

3/8 横山 春希(廣秋・長男) 泡ノ渕

●ごめい福をお祈りいたします

2/26 佐々木幸雄(栄子・夫) 大琴

2/28 嶽石 ヤス(83・二三・母) 新沢

3/6 小松 民雄(55・チヨ・夫) 須郷田

4町民カレンダー

春の火災予防運動

4月1日~4月7日

- 1・消防団駆け付け訓練
- 4・小学校入学式
- 5・中学校入学式
- 5・心配ごと相談(13時~朋楽荘)
- 6・保育園入園式

春の全国交通安全運動

4月6日~15日

- 13~19・春の清掃週間
- 15・道路一斉清掃
- 19・心配ごと相談(13時~朋楽荘)
- 22・大火防止訓練(蔵地区)
- 24・愛育会総会(13時~有隣館)
- 26・自治会長会議(予定)

マイ スケッチ

暖冬の山河

谷口 圭一さん(上通)



3月上旬、北海道へ旅行した時に写したものです。暖冬で平坦地には雪がほとんどなく、勇壮な北海道の山々にも心なしか暖かそうな気配が感じ取られました。

▼表紙・裏表紙をカラーにしました。高橋宏幸先生には快くお引き受けをいただき、ありがとうございます。一年間よろしくお願ひします▼紙面構成とシリーズものを多少替えさせていただきました。「みんなの広場」では児童・青年・婦人・高齢者など各層に登場していただけるよう配慮したつもりです。自薦・他薦をお願いします。

編集室から

▼また多くの方の要望にこたえ、「昔ばなし」を復活させました。石渡力造さんにも大変お世話になります▼俳句のコーナーは「教師のつぶやき」と交互に隔月で掲載させていただきます▼「マイスケッチ」は写真サークルの皆さんに協力をお願いすることになっていますが、一般の方も大歓迎です▼ご意見・ご要望をお寄せください。

善意

公民館図書室に小松一雄さん(東京都)から、図書「陸軍航空の鎮魂」(航空碑奉賛会発行・非売品)が続編と二冊届けられました。ありがとうございます

町民の声を町政に!
町長の面会日・今月は20日